

小野川源泉協同組合



- 所在地:米沢市小野川町 ●TEL:0238-32-2740 ●設立:昭和41年2月 ●出資金:15,329千円
- 組合員数:23名 ●URL <http://www.chuokai-yamagata.or.jp/onogawa/>
- 主な事業:温泉源の管理及び温泉の共同利用に関する事業

小野川温泉は、最上川源流の大樽川(鬼面川)に沿って発達した温泉地である。標高320mで自然環境に恵まれ、昔から小野小町とラジウム温泉で有名な上杉藩米沢城下町の奥座敷として栄えた。

小野川温泉には、1200年前に小野小町が父を探し京都から東北に向かった途中で病に倒れ、小野川の温泉につかって病を癒したとる。また、山形県の米沢を拠る武将「伊達政宗」及び上杉た温泉でもある。



尼湯(小野川開湯場所)

いう伝説が今でも残っている点として活躍していた有名な家代々の名將がこよなく愛し

組合の取り組みとして、平にわたり、「小野川温泉開湯薬師祭り」を行った。これに乗院が毎年、開湯を記念し温泉や宿泊客らに感謝しつおうと、組合と協力して行うこととなった。

成26年10月4日、5日の2日間祭～小野小町開湯1180年で、薬師如来尊堂の別当金で感謝祭を開催してきたが、つイベントとして楽しんでもら

お祭り期間中は、全15旅館と二つの共同浴場の立ち寄り湯が100円で利用可能となり、露天風呂「小町の湯」が無料開放された。組合青年部がメインとなり企画したイベントでは、仮装パレードやラジオの公開収録、米沢市内の人気の飲食店の出店や無料で流しそばが振る舞われた。今年度は、11月8日(日)に開催を予定している。

組合では引湯施設の更新に伴う修繕や客の志向の変化等により、客の減少と客室定員を満たさない非効率な経営を強いられており厳しい状況にある。これを打開するため、新たな収益事業の一環として、バイナリー発電事業に取り組んでいる。これは、直接入浴に利用するには高温すぎる温泉の熱を下げる際、水を混ぜて温度を下げるのが一般的だが、余剰の熱エネルギーを利用して発電することができる仕組みである。組合では30年以上前からお湯の活用方法について検討し続けてきた。今年度より産学連携による実験を開始することとなった。結果を踏まえての本格稼働のバイナリー発電により小野川町全体をまかなえるだけの電気をつくることのできる可能性があるため、地域の貢献に大きな役割をもたらすこととなる。